2026年11月13日

各　位

会　社　名　株式会社メタプラネット
代表者名　代表執行役CEO　サイモン・ゲロヴィッチ
（東証スタンダード市場：3350）
問合せ先　執行役CFO　奥野　晋平
https://metaplanet.jp/ja/ir-contact

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2026年2月16日に公表した2026年12月期の業績予想を修正することといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

１．2026年12月期通期連結業績予想の修正（2026年１月１日～2026年12月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	親会社株主に係る包括利益
前回発表予想（A）	16,000	11,400	非開示	非開示	非開示
今回修正予想（B）	6,500	3,000	―	―	―
増減額（B－A）	△9,500	△8,400	―	―	―
増減率（％）	△59.4	△73.7	―	―	―
（参考）前期連結実績（2025年12月期）	8,905	6,287	△96,141	△95,046	△75,742

２．修正の理由

当社は、2026年12月期の期初業績予想において、2025年12月期第４四半期の資金調達環境及び収益水準の継続を前提に、ビットコイン保有数量の拡大と、調達資金を活用したビットコイン・インカム事業の収益拡大を見込んでおりました。

しかしながら、mNAVが１倍を下回る状況が継続する中、１株当たりのビットコイン保有数量の増加を重視し、期初に想定した規模での新株式の発行等による資金調達を見送りました。この結果、ビットコインの取得及びビットコイン・インカム事業における取引規模が期初想定を下回り、同事業の収益も当初予想を下回る見通しとなりました。

また、2026年10月に発行した総額520億円の転換社債型新株予約権付社債による調達資金については、当社株価の水準を踏まえ、１株当たりのビットコイン保有数量の向上を図る観点から、自己株式の取得に優先的に充当する方針といたしました。これに伴い、追加のビットコイン取得及びビットコイン・インカム事業への資金配分が限られ、当期の収益拡大も限定的となる見通しです。

費用面では、第４四半期における株式会社メタプラネット証券の損益の連結取込みに伴う販売費及び一般管理費、同社取得に伴うのれん償却費等を見込んでおります。

以上を踏まえ、2026年12月期の通期連結業績予想を、売上高6,500百万円、営業利益3,000百万円に修正いたします。なお、ビットコインを基軸とする財務戦略に変更はなく、引き続き１株当たりのビットコイン保有数量の増加を重視した資本配分を実施してまいります。

３．業績予想の前提に関する補足

ビットコイン・インカム事業の売上高には、オプション取引等に係るデリバティブ評価損益が反映される

ため、期末時点のビットコイン価格及びボラティリティ等により、上記予想から変動する可能性があります。

また、Super League Enterprise, Inc.については、クロージングの完了を前提に、2026年12月末日において貸借対照表のみを連結する予定であり、同社の損益は当期の業績予想に含めておりません。なお、取得関連費用は発生時に費用として計上し、当期発生見込額を上記予想に織り込んでおります。

以　上